



JICAによる全人的教育の実践事例の紹介

- 国際潮流、他援助機関の支援動向
- JICA方針
- JICA事業実績
- 実践事例（技術協力プロジェクト）
- 実践事例（課題別研修）

国際潮流

- 2017年のOECD（経済協力開発機構）教育政策レビューでは、知・徳・体をバランスよく育むことを通じた児童生徒の全人格的な完成を目指す全人教育の提供が日本の教育の成功要因として指摘されている。
- 認知能力だけではなく、自己肯定感、やり抜く力、協調性やリーダーシップ等に含まれる非認知能力は、将来にわたって子どもたちが自らの才能や能力を开花させていくために重要な役割を果たす。
- 知能と同程度に将来の結果に関連・知能よりも介入可能性が高いと見込まれる・知能や学力に偏重しがちな教育への反省し、全人的教育にも着目。



他援助機関の支援動向

UNICEF

- 2000年代頃から、UNICEFによって「Life Skills」という包括的な概念が提唱されており、非認知スキルはその中に含まれている。（Life Skills Educationが推進され、140国以上が小学校・中学校のカリキュラムに取り込み、70国が必須科目として設置）

UNESCO

- UNESCOの教育分野では「2030年までに、万人のための、公平でインクルーシブな質の高い教育と生涯学習を確保する」ことを包括的目標として掲げている。上記目標に紐づく教育戦略の3つの内2つの目標は非認知スキルと関連

USAID

- 社会情動的な学習を、“2018 USAID 教育ポリシー”に位置付け
- USAIDの基礎教育での活動に、社会情動的な学習がどのように組み込まれているかについて、8つのケーススタディを実施



JICAグローバルアジェンダ関連

JICAグローバルアジェンダ（課題別事業戦略：GA） の基礎教育にかかる3つの協力量針

- ① 教科書や教材を開発し学びを改善
- ② 地域のコミュニティと学校との協働
- ③ 誰ひとり取り残さない教育を提供

非認知スキルの位置づけ

①教科書や教材開発を通じた学びの改善クラスターの下、理数科分野特に算数の起点とした協力の展開を図る他、学習プロセスにおいて、自己肯定感の醸成や、難しい問題に粘り強く取り組んでやり抜く力、特別活動などの教科外の学校活動を通じて育成される協調性やリーダーシップなどの、社会情動スキル（非認知スキル）能力も含めた「学び」の改善を視野に入れ、「学習の危機」に対応する協力を進めていくと定義。

一人ひとりが 生き生きと輝く、 質の高い教育を

良質な教育を提供し、

みんなが尊厳をもって

生きることができる

社会基盤を築きます。

世界には、必要最低限の読解力や
計算力を習得できていない
子どもや若者が6.1億人以上います。
また、高等教育に関しては
国による格差が生じています。
すべての人々が学ぶ場を得て
能力を生かして活躍できるよう、
取り組めます。



JICAの取り組み

- 全人的教育を通じた非認知スキルの育成に貢献するものとして、イスラム圏の国々を中心に、技術協力プロジェクトの実施中（例：全人的な教育、特別活動）
- 2023年から、課題別研修「全人的な教育：日本の実践的なアプローチ」を、マレーシア、モンゴル、パレスチナ、エジプト、南アフリカ共和国、ガーナ、マダガスカル等の対象に実施
- 全人的教育の支援を非認知スキルの育成は重要であり、現在実施中の案件を通して貢献

スキーム	主な内容
海外協力隊 (1966年～)	幼児教育、小学校教育、青少年活動、体育、音楽等
草の根技術協力事業	美術、体育、少年の更生、非行防止、「環境」教科の導入、他者理解や協調性、規範意識の醸成、ライフスキル等 <ul style="list-style-type: none"> ■ インドネシア「中学教科「環境」の確立と環境教育の普及支援プロジェクト」 ■ ヨルダン「社会性育成を主眼に置いた特別活動実践と体制構築事業」
民間連携事業	インド「環境・衛生教育を目的とした絵本の読み聞かせ・販売事業準備調査」
技術協力プロジェクト (非認知スキル)	<ul style="list-style-type: none"> ■ エジプト「特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及プロジェクト」 ■ マレーシア「全人教育推進プロジェクト、ヨルダン：学習環境改善を通じた初等教育退学抑止プロジェクト」 ■ ヨルダン「学習環境改善を通じた初等教育退学抑止プロジェクト」
課題別研修	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「全人的教育：日本の実践的なアプローチ」

【事例】エジプトの全人的教育支援にかかる 技術協力プロジェクト

フェーズ1（2017-2021）： 学びの質向上のための環境整備プロジェクト

- 学力偏重のエジプトで、特別活動を導入し、主体性、協調性、社会性、規律等の醸成を促進し、「人間性」や「健康な身体」もバランスよく育成する「全人的教育」モデルのパイロット校や新設校等（90校程度）での実践と普及を目指した。
- 特活モデル(日直、学級会、学級指導)導入や普及ガイドラインの策定、学校施設・備品の標準仕様の策定、教育省、対象校関係者の能力強化（現地研修、本邦研修）等を実施。
- カリキュラムに「Tokkatsu」を導入。調査対象の3年生の児童の91%、中学校1年生の児童の61%が、「自分の学校が良くなっている」とあり、79%の保護者からの児童の肯定的な変化を回答。校長の100%、教員の91%が「学校で肯定的な変化が見られた」と評価。



手洗いの習慣



学級での話し合い

【事例】エジプトの全人的教育支援にかかる技術協力プロジェクト

フェーズ2（2021-2027）： 特別活動を中心とした日本式教育モデル 発展・普及プロジェクト

- フェーズ1で開発した特活モデルを普及し、持続的に実施していくための体制強化及び仕組みをつくることにより、同モデルの一般校（約18,000校）までの段階的な普及を目指す。
- 3万人以上の教師等への研修を実施済で、より全国的な普及活動を継続的に実施中。



学級の掃除



学校行事

【事例】ヨルダンにおける協力事業

●技術協力：学習環境改善を通じた初等教育退学抑止プロジェクト(2021年～2025年)

■ 難民流入等に起因する過密教室・授業時間の減少の影響から質がさらに低下している。加えて、いじめ・校内暴力・差別などの課題があり、退学児童の増加。

■ アンマン、北部地域及び南部地域において、就学継続を目的とする「学習環境改善モデル（PLEモデル）」導入のためのパイロット活動を行うことにより、子どもの就学継続に貢献するPLEモデルの普及体制の構築を図り、もって同モデルのパイロット校以外への普及に寄与。



学級会の様子

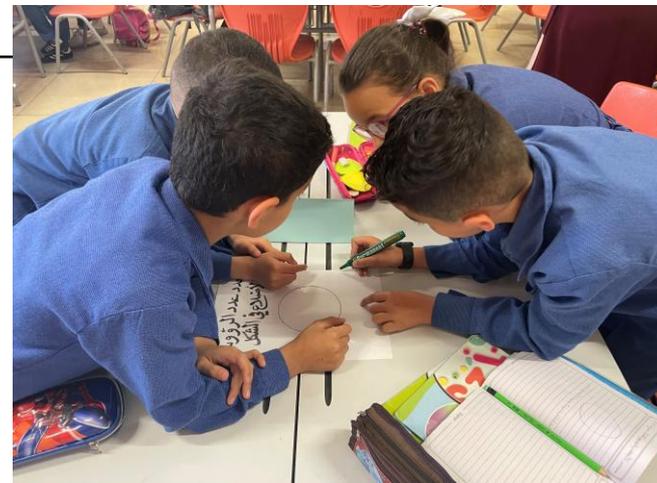


日本の教育関係者と知見共有の様子

【事例】ヨルダンにおける協力事業

●草の根協力：特別活動の継続的实施と普及のための基盤整備事業（実施団体：特定非営利活動法人 国境なき子どもたち）2023年～2025年

- アンマン等対象地域において、教育局及び教員ら特別活動インストラクターの養成、及び保護者の学校活動への参画機会の拡充により、特別活動普及と継続を可能とする基盤が整備されることを目的に実施。
- 日本の教員や教育委員会の方と交流し、日本の特別活動実践等に関する知見も共有。



学級での話し合い



日本人専門家による研修

【支援事例】 課題別研修「全人的教育：日本の実践的アプローチ」

【案件要趣】

- 日本の全人的な教育（特別活動を含む）の枠組み、理論、現場（幼稚園／保育園、小学校、中学校）での実践、および、その教科横断的な特徴を学習のうえ、自国の当該領域との比較・分析を通じ、各国の状況に適した実行可能なアクションプランを作成し、非認知／社会情動スキルの全人的涵養に貢献することを目的とする。

【研修内容】

(2～3週間程度、日本各地での研修を実施)

- 日本の教育現場（幼稚園／保育園～中学校）の視察や有識者（大学教授や幼稚園・小学校・中学校の教員）との講義・協議など通じて、日本の全人的教育の特徴、取り組みや授業（特別活動を含む）について観察・学習する。
- 全人的な教育（非認知的領域を含む）の授業案の作成方法を学び、その実践を体験する。
- 子どもの非認知的スキル習得のための教員や学校教育の役割、教員研修や教員の能力強化方法について学習する。
- 自国と日本の取り組みにおける違いを比較し、それぞれの強み／弱みや課題について分析する。
- 自国の学校における全人的教育の発展と普及に向けた実行可能なアクションプランを作成する。



日本の教育現場に関する映画鑑賞を行い、日本の現職教員等と意見交換も実施



幼稚園・保育園の視察様子

【支援事例】 課題別研修「全人的教育：日本の実践的アプローチ」

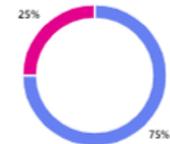
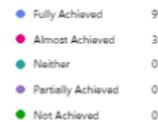
【研修員の声】

※全体的に目的達成に関し、全員が非常に満足と満足と回答(左記)。個別の声の一例は以下の通り。

- ・ 網羅的に日本の実践を理解できるもの
- ・ 全人的教育における日本の強みを理解でき、また、信頼醸成や関係構築の重要性を理解できた
- ・ 自身の国で活かしたい知見を取得できた
- ・ 一部、教員研修や教員養成課程で全人的教育関連の研修などあれば仕組みや内容等も勉強したい

5. I have achieved the course objective.

[詳細情報](#)



6. The knowledge and experience gained from this program can be fully utilized in my work.

[詳細情報](#)



